

名張市社会教育委員提言

「子どもの社会への主体的参画」の実現のために

令和4年3月

名張市社会教育委員

はじめに

社会教育は、学びを通して個人の成長を図るとともに、他者と学びあい認めあうことで相互のつながりをつくる働きがあります。特に、他者との交流を通じて、新たな気づきや学び、活動への意欲が高まり、より主体的な学びや活動へとつながっていく循環が強みであり、学びあい支えあう地域づくりに大きな役割を果たしてきました。今後、人口減少など社会の大きな変化の中であって、住民の主体的な参画による持続可能な社会づくり、地域づくりに向けて、個人が「学び」、多くの人々が「つどい」、人と人を「むすぶ」ことがさらに重要となってまいります。

名張市教育委員会は、「夢をはぐくみ心豊かでいきいきと輝く『ばりっ子』」を、めざす子ども像として、平成 22 年度に「第一次名張市子ども教育ビジョン」を策定し、子どもの発達に即した一貫した教育・保育の在り方を検討するなど、様々な取組を行ってきました。平成 28 年度には、計画期間を 10 年間とする「第二次名張市子ども教育ビジョン」を策定し、令和 2 年度末までの前期計画では、コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を軸に、地域住民など多くの人たちが子どもの育ちにかかわる体制が市内小中学校への学校運営協議会の設置として進められてまいりました。後期計画では、「家庭・地域の教育力の向上」「持続可能な社会の創り手の育成」「子どもの社会への主体的参画」の実現に向けて、子どもの育ちにかかわるあらゆる主体が、「子ども」を中心に「学ぶ」、「つどう」、「むすぶ」役割に基づく生涯学習ネットワークを充実していく必要があります。

私たち社会教育委員は、あらゆる機会・場で社会教育を推進する役割を担うと共に、名張市全体の方向性を示し、取組の検証を行い、次の取組や施策に生かすという役割も合わせ持っています。これまでの社会教育委員会議では、名張市教育ビジョンの内容について研修・確認する機会や、学校運営協議会で幅広く活用されている熟議の手法を使って、目標達成の手立てや条件等について社会教育委員相互の学習機会を設けてまいりました。とりわけ、本年度は、教育委員会のめざす子ども像を確認しつつ、後期計画を推進するうえで必要となる「家庭・地域の教育力の向上」、「持続可能な社会の創り手の育成」「子どもの社会への主体的参画」の三つの視点を、三つの部会に分けて現状や課題の確認を行いました。そして、それぞれの委員の実践や知見をもとに取組方策を検討し、その結果を提言することといたしました。

子どもの社会への主体的参画

(1) 名張市の社会教育がめざす子ども像の確認

名張市で、保育所(園)・幼稚園・認定子ども園の就学前教育の期間を経て、市内小学校中学校で9年間の学びを終えた子どもたちは、高等学校等への入学と同時に生活圏を市内から県内・県外に広げることもある。さらに、大学への進学や就職になると全国各地に生活拠点を移していく子どもが多くなる。

就学前、および義務教育期間には名張市で過ごす子どもが大部分であり、この間子どもたちを取り巻く人たち、とりわけ学校運営協議会において子どもの将来の姿を学校と共有した地域の人たちのかかわりによって子どもたちの経験・体験が企画され、そうした活動に参加した子どもたちの心の耕しとともに地域社会を愛し、生まれ育った地域に誇りが持てるように育てていくことをめざしたい。

地域の人たちからの働きかけに感謝の気持ちを持った子どもたちが、できることなら地元で、あるいは移り住んだ土地で次世代の子どもたちに積極的に関わるとともに、地域課題の解決に向けてそれぞれの持つ経験や知識を生かしていける人材に育てていきたい。

(2) 子ども像実現のための具体的な取組

平成29年度からの学校運営協議会制度の導入以降、市内小中学校19校では学区の属する地域づくり組織との連携・協働を図り各校のめざす子ども像実現のため取組を進めてきた。

市内のある地域では、学校で学ぶ子どもの実態が地域行事に積極的に参加できていないことや、主体的周囲の人たちに関わる子どもが少ないということを受けて、子どもたちの声を聴く場を設け、上がってきた意見を具体の取組につなげ、子どもたちに自信を持たせる取組を行っている。

また、学校の求めにより子どもたちの学習に向かう姿勢をより高めていこうとして、授業の中で、子どもたちを励ますボランティア活動の取組等、児童・生徒の意欲向上に向けた活動がなされてきた。

さらに、校歌と関連付けて、かつて地域の代表的な農産物を取り上げ、ボランティアから、管理作業や収穫活動を通して、地域愛をはぐくむ取組や、「地域の中の子ども」という意識の高まりにより、地域づくりからの交通安全や防災意識の向上に向けた取組として交通安全標語の募集や地域防災訓練への児童・生徒の参加などの取組もなされている。

今後、地域課題の解決とつなげながら、子どもたちが参画できる取組の実施が必要となる。その一例として、縦割り意識育成をめざして年長の子どもが年少の子どもを指導し、地域で実施する様々な活動に参画する中で「地域に対する誇り」を育てる取組を行っている地域もある。また、地域にある夏祭りや様々な行事に子どもたちを関わらせ、参加するだけでなく運営する立場として参画できることがこうした意識の向上につながっていくのではないかと考える。

(3) 実現のための条件づくり

○保護者の役割

- ・保護者が子どもの育ちに対して、第一義的な責任を負うことはもちろんであるが、子どもが地域の一員であるという意識とともに、地域社会に目を向けるよう、保護者自身が地域活動に参画する姿を見せていく必要がある。

○学校の役割

- ・教職員が、児童・生徒は地域の子どもであるという意識を持つとともに、地域住民に顔が見える関係、地域との協働の意識を育んでいくことが重要である。
- ・学校が地域住民と保護者をむすぶ接点となりうることを自覚し、その場面設定をすることが重要である。

○地域の役割

- ・子どもが主体的に考え、発想したことの実現に向けて、子どもの企画・運営の機会や、発信の機会を作っていく必要がある。あわせて地域住民への広報を重ね、地域住民の参画意識を一層高めていく必要がある。

○教育委員会の役割

- ・学校の課題解決のために、学校運営協議会で熟議をし、具体的取組として実践化を図る一方、地域課題の解決に対して学校、児童・生徒の参画ができる体制をより強固なものとするために、法整備を含めて「地域学校協働活動推進員」を置き、地域と学校の橋渡しの役割を担っていく体制が必要である。「地域学校協働活動推進員」については、学校運営協議会の委員を兼ねることで情報のスムーズな流れと、学校と地域づくり組織の一体的な取組につながっていきえると考ええる。
- ・「社会教育」の担う重要性、とりわけ「地域課題」の解決に向けて、学校と連携協働する中で、将来を担う子どもを巻き込んだ取組の必要性を地域づくり組織や、その拠点となる市民センターに啓発することが必要である。

おわりに

次世代を担う子どもたちが、社会教育による学びを通じて地域の課題やその解決方法をさまざまな世代の住民とともに実践的に学ぶことは、持続可能な地域づくりにつながると考えます。また、子どもたちの参加は他の住民の参加意欲にも好影響を与えるとともに、子どもたちにとっても、若年期に自分自身で課題を設定し取り組むなどの自己学習の習慣や、他者（ひと）とのかかわりの中で相互に学習する視点を身につけておくことは、その後の学習や社会生活において大きな意義を持つものとなります。

提言をまとめる中で、社会教育委員として社会教育の現状を確認するとともに、多様な主体との連携・協働が重要であることを再確認する機会となりました。本提言は、われわれが、学校、地域活動等を実践する中で感じ、考えていることであります。名張市子ども教育ビジョン後期計画は令和3年度からスタートしました。その中で「家庭・地域の教育力の向上」「持続可能な社会の創り手の育成」「子どもの社会への主体的参画」を教育委員会とともにめざし、子どもを核とした「学ぶ」・「つどう」・「むすぶ」という学習や活動の循環が拡大するとともに、生涯学習ネットワークの構築につながっていくよう、発信・実践活動を続けていく所存です。

また、本提言をもとに保護者や地域、名張市教育委員会など関係者が、私たち社会教育委員とともに、課題解決に向けて一層の取組の充実を期待します。

経過

令和3年10月12日（火）

第2回社会教育委員会議の席上、「家庭・地域の教育力の向上」「持続可能な社会の創り手の育成」「子どもの社会への主体的参画」の3つに分かれて条件づくり、具体的な取組について意見の取りまとめを行い、教育委員会へ提言することを確認する。

○「子どもの社会への主体的参画」

- ・令和3年11月11日（木）

教育センターにて、意見の取りまとめを行う。

- ・令和4年1月25日（火）

教育センターにて、提言案の確認を行う。

社会教育委員会議 提言書作成委員

（令和4年3月時点）

	氏名	選出団体・選出理由
委員長	齊藤 健	体育団体代表
副委員長	増岡 孝則	社会教育経験者
	有馬 聖子	PTA代表（名張市PTA連合会）
	生田 茂夫	生涯学習推進協議会代表
	神野 稔	社会教育経験者
	耕野 一仁	文化団体代表（名張文化協会）
	小引 福夫	地域づくり組織代表
	澤田 田鶴子	青少年健全育成経験者
	須曾野 仁志	三重大学教育学部教授
	千邑 淳子	皇學館大学文学部国文学科准教授
	椿原 礼子	家庭教育経験者
	豊岡 千代子	社会教育経験者
	根本 健	校長会代表（桔梗が丘南小学校）
	橋本 香里	家庭教育経験者
	廣岡 茂斉	校長会代表（桔梗が丘小学校）
	若山 東男	企業経営経験者・社会教育貢献者